

平成 30 年 8 月 10 日

池田町長

甕 聖 章 様

池田町議会議長

那 須 博 天

提 言 書

池田町議会では第 6 次総合計画策定のための町民アンケート結果を検証し、町の取り組みの重要課題として、下記のとおり事業強化されるよう提言する。

記

- 1 若者定住、子育て支援のまちづくりの継続的な取り組みをされたい。
- 2 デマンドバスへの転換やタクシー券の交付など、公共交通のあり方を再検討され交通弱者の交通手段の確保をされたい。
- 3 地元農産物や加工品を活かした第 6 次産業化の体制を確立されたい。
- 4 地域交流センターの運営は町民の意見を十分に諮り、早期にその運営方針を示され、誰もが集う新たな教育芸術文化のにぎわいの源とされたい。

池田町議会では第6次総合計画策定のための町民アンケート結果を検証し、下記、町の取り組みの重要課題として事業強化されるよう提言する。

補足・各委員会から提出された検討事項

- 1 若者定住、子育て支援のまちづくりの継続的な取り組みをされたい。
アンケート結果からもわかるように、少子高齢化社会を更に実感し池田町に若者を確保したいという強い願いがある。若者定住、子育て支援、少子高齢化対策の継続的な町の取り組みは重要課題である。
- 2 交通弱者の交通手段の確保をされたい
少子高齢化を迎え「交通弱者の交通手段の確保」については、更なる問題意識が高まっている。交通の利便性は、移住定住先の選択要件のひとつでもあることも踏まえ、安心安全に歩ける道路の整備、高齢者のための新たな交通手段などは重要課題である。デマンドバスへの転換やタクシー券の交付など、公共交通網のあり方を再検討されたい。
- 3 地元農産物や加工品を活かした第6次産業化体制の確立をされたい
◎シェアベース・にぎわいを中心に、ハーブセンターやカモミールと連携して、第6次産業化の確立をされたい。
 - ・町の観光拠点としてハーブセンターが存続維持できるよう創意工夫を。
 - ・トイレの改修、駐車場の増設、ハーブ園エリアの増園を。
 - ・行政、観光協会、商工会が一体で取り組む組織づくりを。◎ワイナリーの早期実現
 - ・誰がいつまでに、場所は、規模は等、具体策を早期に示されたい。
- 4 地域交流センターなど新たな教育芸術文化のにぎわいの源とされたい
◎地域交流センターの運営については、町民の意見を十分に諮られ、施設利用料も含め、早期にその指針を示し円滑な施設利用の移行ができるようにされたい。
◎図書館運営については、地域文化の情報発信の地として、今後の資料収集・保存・運営施策なども含め、基本計画など広く町民へ知らせていただきたい。
◎施設移動に際しては、ボランティア募集などを行い、町民力を活用してこれからの施設への愛着を育んでいただきたい。